

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 1】

<エントリーシート>	部門	学校名・氏名
※事務局記入欄	学校教育の情報化研修	愛知県日進市立梨の木小学校・上田 慶二
No. : A - 19	活動名 主タイトル : 教育の情報化推進活動 副タイトル : 教職員の意識変革と行動変革の取組	
<p><b>課題の設定 :</b> 教育の情報化に対する教職員の聞き取り調査結果(資料1)から、情報通信ネットワーク社会で便利さを実感しているにもかかわらず、教育現場は旧態依然とした変わらないスタイルであり、第4次産業革命に活躍する児童の未来は遠いと感じた。そこで、児童が楽しく ICT を活用する機会を増やすことが必要であると考え、(1)教職員の意識改革と情報教育のリーダー育成 (2)ICT を活用した授業の推進 (3)ICT を活用する時間の確保 (4)家庭や地域の理解を目指し、次のような方針・計画を立てた。</p>		
<p><b>方針・計画 :</b> (1)①教頭会②情報教育担当者会③地区の教職員(有志)の学習会を通して、教育の情報化の必要性と必然性について理解を促し、市内の教職員の意識を高める。(2)校内において、ICT を活用した示範授業を行うことで、児童の授業に対する意識の変化を可視化する。(3)教頭や情報教育担当者を中心に、校内の教育活動で児童が楽しく ICT にふれる機会を模索する。(4)保護者や地域に学校 ICT 活用の場を設けてもらうことで、今日的な教育の一端について知ってもらう。次に、それぞれの活動内容を示す。</p>		
<p><b>活動内容 :</b> (1)①学校運営の推進役・調整役である教頭が、プログラミング教育のアプリやソフトなどを実際に体験し、楽しさや面白さを実感する。②情報教育担当者が推進教師としての役割と責任の自覚をもたせるために、児童が楽しく ICT にふれる活動計画を立て、事例集を作成する。③ICT 活用とプログラミング教育についての学習を深め、児童や教職員にその必要性と必然性を発信する。(2)校内にある ICT 機器、ソフトやコンテンツなどに光を当て、教頭や情報教育担当者が、ICT を活用した授業を行う。(3)①ICT クラブを創設する。②PC 室の開放に向けて準備をする。(4)①公開授業で ICT を活用した授業を行う。②PTA 総会や委員会などで ICT を積極的に活用する。次に、それぞれの活動における成果を示す。</p>		
<p><b>活動成果 :</b> (1)①新学習指導要領の特筆事項の理解とプログラミング体験を通して ICT 活用の必要性と必然性を実感した(写真1)。②各校での事例(資料2)を市内共有フォルダーに保存し、すべての教職員の閲覧を可能とした。③「未来社会に生きる子どもたち」をテーマに、プログラミング教育の重要性を中心に据えたテキスト(資料3)を作成し、さらに ICT を活用する演習(資料4)を通じて、指導者も学習者も心と体がフル回転することを実感した。(2)校内で眠っている ICT 機器や、使用頻度が少ないソフトやコンテンツなどを活用した授業が児童の集中力を高めた(写真2)。(3)ICT のクラブ創設で、児童が選択してプログラミングソフトを楽しむことができた(写真3)。現在、PC 室の開放に向けては安全安心面で整備途中である。(4)公開授業の参観者、PTA 総会や委員会の参加者から、「わかりやすい」と好評であった。</p>		
<p><b>アピールポイント(アイデアや工夫)</b> (A)教頭が率先して、ビスケットやスクラッチなどのアプリを使った授業公開を行った。(B)教職員の聞き取り調査から、情報教育を進めるにあたっての課題が明確となった。特に、「小学校プログラミング教育」の目的・目標・内容が浸透していない現状。(C)テキストや事例集の編集が情報教育を進めることで、教職員の不安が少し取り除けた。(D)児童が ICT を活用する時間の確保として、「PC 室開放」の提案に、大部分の教職員が食いついた。(E)備品点検の折に、ICT 機器やソフトを探し、授業で使用した。</p>		

**<<資料1 実態調査結果>>**

なぜ、ICT機器やソフトを使わないのですか

ICTを活用した授業に取り組みましたか  
(平成29年度) 調査人数47名

はい	17人
いいえ	4人
わからない	19人

第1位 黒板とチョークがあれば事が足りる  
 第2位 操作に不慣れで授業が止まる不安がある  
 第3位 デジタル教科書を使うと、授業が時間内に終わらない  
 例外 授業でICTを使うほどの内容がない  
 少人数ではICTは必要がない  
 どんなプログラム言語を使うのかわからないから

**児童がタブレットやパソコンにさわる機会を増やすにはどうしたらよいか**

第1位 授業を工夫してパソコンやタブレットを使用する機会を増やす  
 第2位 教職員がICTに対する知識や技能を高め  
 自信をもって支援にあたる  
 第3位 ICT支援員を増やす  
 例外 長い放課後と授業とPC室を開放する  
 事例集があればよい

**小学校のプログラミング教育の必修化に向けてどのような準備が必要だと思いますか**

第1位 「小学校プログラミング教育とは何かを知るの」から学ぶ必要がある  
 第2位 カリキュラム編成(各教科、総合的な学習の時間)  
 第3位 ICT端末やソフトウェア、コンテンツの充実などの環境整備  
 例外 ICT端末やソフトウェア、コンテンツを積極的に使う  
 指導方法について研修と研鑽をする  
 専門職員を配置する

**<<写真1 教頭会研修の様子>>**

**<<資料3 ICTテキスト(P!)>>**

1 未来の世界  
 未来は、コンピュータで制御された乗り物や通信機器が、わたしたちの暮らしは便利になっていることでしょう。現代社会においても、IoT(物のインターネット)やAI(人工知能)が登場し、わたしたちの暮らしには、コンピュータやタブレット、スマートフォンなどが欠かせないものになってきています。きっと、未来は、ドラえもんや鉄腕アトムなどのロボットが地球上の生き物と共生しながら活躍している時代になっていることでしょう。みなさんと未来の世界について話し合ってみてください。

**<<資料2 情報教育担当者会 活用事例集の一部>>**

**ICT活用事例集**

実践例

- 言語学習
  - ・音読をしている口の形を撮影して目と耳で発声の確認をする
  - ・外国語の英文と音を目と耳で確認する
- 実技・運動の学習
  - ・自分たちの動作を撮影する
  - ・運動会や学習発表会などの行事・練習の様子を撮影して改善を図る
- 継続的な記録が必要な学習
  - ・理科の観察記録など

☆現職教育・教職員の委員会  
 ・授業研究、生徒指導・いじめ防止対策委員会など。

**<<資料4 学習会の演習の一例>>**

**指導者も学習者も心と体をフル回転するには?**

指導者：身に付けさせたいことを・・・  
 なぜ、この学習をするのか  
 どうしたら、身に付くようになるのか  
 どのような手順で、この学習を行うのか  
 そもそも、なぜこの学習をするのか

学習者：わかったことを・・・  
 短いメッセージにして記録にとる

**<<写真2 ICT活用授業(書写編)>>**

**棚の中に眠っているICTの活用**

ICTの活用 (パワーポイントと書画カメラ) ①視覚的情報の提示 ②拡大する ③焦点化する ・指し示し・書き込み・ズーム・マスク・アニメーション	フラッシュ教材(写真) それでは始めます。  England(略) イギリス
---	--

**演習**

Q: 個々に教科書を読ませたい  
 Q: ペアの児童が指示する絵を描かせたい  
 Q: 漢字のドリルを行わせたい  
 Q: 「永」という漢字を書かせたい  
 Q: 1/2÷2を理解させたい  
 Q: 名前を英語で書かせたい

**<<写真3 ICTクラブでの様子>>**